



謹賀

快適で安心できる まちを目指して

笠松町長 広江 正明

あけましておめでとうございます。

2014年の輝かしい新春を迎え、町民の皆様のご多幸を心からお祈りいたしますとともに、平素からの町行政に対するご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

昨年は、笠松町・岐阜県サッカー協会連携のもと、町内企業からのご支援を賜り、木曾川河川敷に「笠松町多目的運動場（天然芝・人工芝）」が完成しました。この運動場は「岐阜県フットボールセンター」として位置づけられるとともに、岐阜県内のサッカー振興の拠点でもあることから、直接プロスポーツに触れられる機会が増え、地域住民の方々にさまざまな感動や夢を与えております。今後は隣接する施設との一体化が図られ、サッカー競技のみならず、スポーツ振興や地域のコミュニティ活動など、各種レクリエーションにも大いに活用していただくことを期待しております。

また、今年の3月に完成する笠松中学校新屋内運動場は、学校行事以外でも、社会教育・文化事業など多くの方々の施設利用を想定し、エレベーターや多目的トイレ、冷暖房設備が整備され

ています。災害時には、小部屋として活用できる部室や広い廊下を整備し、地域の方々の避難所として十分な役割が果たせるよう考慮いたしました。

この中学校新屋内運動場の完成により、すべての小中学校の耐震化が完了しますが、今年は防災拠点の中心となる庁舎の耐震化を進めなくてはなりません。防災拠点としての機能を十分に発揮するため、築45年が経過し老朽化した庁舎の耐震補強工事を行い、災害に対して強いまちづくりを進めてまいります。

そして、木曾川河川敷を活用したサイクリングロードの整備や羽島用水パイプライン上部利用、運動公園の改修工事などのインフラ整備を進め、快適で住みよいまちを目指してまいります。

笠松町が、より安全で安心して暮らしていける魅力あるまちとなるよう、今後とも、全職員が一丸となって笠松町の発展のために尽力、邁進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様の今後ますますのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。